

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	621-01-01		
事務事業名			大阪府総合体育大会関連事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4413
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			予算科目 会計 1 一般会計 款 10 教育費 項 6 保健体育費 目 1 保健体育総務費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			
	対象(誰を・何を)	府民の各種スポーツの競技者				
目的(どうしたいか)		府内各地域のスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神高揚を図り、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするもの。				
手段(事業内容)		全13種目33種別中、毎年決定した本市開催種目の円滑な運営を図る。				

## 事業費

単位: 千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		136	136
人件費		1,846	1,852
総事業費		1,982	1,988
うち市負担分		1,982	1,988

28年度決算主な内訳
【事業費】負担金: 87,000円 総合スポーツセンター利用料: 48,027円

## 活動指標

指標名	当市における開催日数(日)		
指標の説明	当市における大阪府総合体育大会の開催日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			1

参考数値

## 成果指標

指標名	当市開催の大会参加者数合計(人)		
指標の説明	大阪府総合体育大会における当市開催種目の大会参加者数合計		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			114

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会の主催事業であり、様々なスポーツの普及・振興を図るために、今後も継続すべき事業である。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	621-01-02			
事務事業名			市民総合体育大会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4411	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10 教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			項	6 保健体育費
						目	1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)			青少年の健全育成や市民の健康づくり				
目的(どうしたいか)			大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。				
手段(事業内容)			各種目の参加受付及び取り纏め業務、大会が円滑に進む為の連盟関係者との連絡調整、大会運営を全般的にお願いしている体育協会競技種目連盟への大会運営助成金の拠出事務。				

## 事業費

単位: 千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		2,574	2,800
人件費		1,635	1,642
総事業費		4,209	4,442
うち市負担分		4,209	4,442

28年度決算主な内訳
【事業費】 体育協会競技種目連盟への大会運営助成金: 1,800,000円 総合スポーツセンター利用料: 773,256円

## 活動指標

指標名	大会の開催回数(回)		
指標の説明	市民総合体育大会の開催回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			1

参考数値

## 成果指標

指標名	大会参加人数(人)		
指標の説明	市民総合体育大会の参加人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			3,003

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 市民総合体育大会は、スポーツの普及・振興に対する一つの柱的な事業である為、今後も体育協会競技種目連盟と連携を取り、市民の健康、体力づくりに寄与する大会として継続させていく事業である。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	621-01-03				
事務事業名			スポーツ大会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4411		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			項	6	保健体育費
						目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)			市民					
目的(どうしたいか)			市民スポーツを通じて、健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。					
手段(事業内容)			市民体育祭・市民マラソン大会・少年サッカー大会を開催している。開催にあたっては、体育協会・スポーツ推進委員及びスポーツ少年団と連携、また、一部を民間に委託し実施する。					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		11,456	11,502
人件費		7,066	7,092
総事業費		18,522	18,594
うち市負担分		18,522	18,594

28年度決算主な内訳
【事業費】スポーツ大会開催委託料: 11,453,682円 石川サイクルロード使用料: 1,800円

## 活動指標

指標名	大会の回数(回)		
指標の説明	市民体育祭, 市民マラソン大会		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		2	3

参考数値

## 成果指標

指標名	全体会の参加人数(人)		
指標の説明	市民体育祭, 市民マラソン大会に参加した人の延べ人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		6,000	6,500

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民体育祭や市民マラソン大会は、市民に親しまれた大会として継続しているものが多く、今後も市民の健康及び体力づくりに欠かせない事業であると考えます。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	621-02-01				
事務事業名			普通救命講習会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4412		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			項	6	保健体育費
						目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)			市民					
目的(どうしたいか)			スポーツやレクリエーション活動中、疾患等の事故が発生した際に適切な処置を行えるよう心肺蘇生法の講習を受けていただく事で、活動の安全性向上を図る。					
手段(事業内容)			普通救命講習会実施に係る参加者募集の為の広報掲載、使用施設の予約(総合スポーツセンター)、当日受付及び運営補助、当日使用する消耗品の準備事務、また、講師については柏原羽曳野藤井寺消防本部に依頼をしているので、開催するにあたっての確認調整を行っている。					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		20	20
人件費		4,060	4,073
総事業費		4,080	4,093
うち市負担分		4,080	4,093

28年度決算主な内訳
【事業費】総合スポーツセンター施設利用料:20,000円

## 活動指標

指標名	普通救命講習会開催日数(日)		
指標の説明	普通救命講習会の開催日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			1

参考数値

## 成果指標

指標名	普通救命講習会参加人数(人)		
指標の説明	普通救命講習会の参加人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			134

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 例年、受講希望者が100人を大幅に超える多くの市民から需要がある事業である。また、参加希望者の過多により、講師をしていただく柏原羽曳野藤井寺消防本部から、『講習の質向上の為に開催1回においての参加者を100名に制限してほしい。なお、1回あたりの人数さえ調整できるのであれば開催回数を増やす事を検討していただいても問題ない』との要望及び意見があった為、今後も多くの市民に参加いただけるよう開催回数拡充の改善を図りながら継続していく。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

				コード	622-01-01	
事務事業名		スポーツ推進委員関連事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10 教育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり		項	6 保健体育費
					目	1 保健体育総務費
対象(誰を・何を)		羽曳野市スポーツ推進委員				
目的(どうしたいか)		市民に対するスポーツの実技指導及びニュースポーツの普及活動を通して、市民の心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。				
手段(事業内容)		羽曳野市内より各校区毎(小学校区)の担当として概ね2名ずつの委員を選出し、教育委員会が委嘱する。生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じてスポーツの実技指導を行う。また、市民のスポーツ活動の促進の為、スポーツ団体のみならず、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ関連の行事や事業に協力している。				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		1,930	2,052
人件費		3,322	3,333
総事業費		5,252	5,385
うち市負担分		5,252	5,385

28年度決算主な内訳
【事業費】報酬:1,570,000円
消耗品(みんスポ):5,200円
食糧費:35,057円
被服費:71,928円
総合スポーツセンター利用料:72,130円
負担金:24,400円
消耗品費:22,842円
印刷製本費:28,080円
庁用器具費:99,792円

## 活動指標

指標名	定例会の開催回数(回)		
指標の説明	定例会の詳細として、市役所会議室にて、協議会や各校区レベルで行うイベントの話し合い及び調整、コロシアムにて、カローリング等ニュースポーツの実技研修の開催回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		11	12

参考数値

## 成果指標

指標名	自主イベントの開催回数(回)		
指標の説明	「ニュースポーツのつどい」と題した、市民の皆様が無料で気軽に参加できる、バウンスポール、カローリング等の体験イベントの開催回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		3	4

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市全域における社会体育及び生涯スポーツ等の普及を担っており、市内におけるスポーツの普及や推進に不可欠な事業である。また、各小学校区ごとに委員が選出されていることから、市民との直接的な情報交換が実現しており、地域スポーツの振興に市民の意見が反映できている。市域のスポーツの更なる普及の為に、今後は委員の活動を活性化させていく必要がある。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	622-01-02				
事務事業名			スポーツ関連団体支援事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4410		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり			項	6	保健体育費
						目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)			羽曳野市内のスポーツ団体					
目的(どうしたいか)			羽曳野市民を中心とした身近なスポーツに親しみ健康的で心豊かな生活を実現するために、活動を活発化させる。					
手段(事業内容)			体育協会・スポーツ少年団・ゲートボール協会に対し助成金を拠出し、大会や講習会等の催しを行う。					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		3,644	3,644
人件費		4,588	4,605
総事業費		8,232	8,249
うち市負担分		8,232	8,249

28年度決算主な内訳
【事業費】ゲートボール協会講師謝礼:30,000円 賞品代:123,351円 ゲートボール協会助成金:160,000円 スポーツ少年団助成金:480,000円 体育協会助成金:2,850,000円

## 活動指標

指標名	助成団体数(団体)		
指標の説明	羽曳野市が助成金を拠出している団体数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			32

参考数値
・体育協会(15団体加盟) ・スポーツ少年団(16団加盟) ・ゲートボール協会

## 成果指標

指標名	各種団体が行った大会・講習会等事業数(回)		
指標の説明	各種団体が行った大会・講習会等の事業数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			119

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 スポーツ少年団は小学生が中心で、子供達の運動能力向上に寄与している。他団体に関しても、活動を通して健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る上で重要な役割を担っている為、今後も継続して活動への支援等を行う。今後の改善点として、少子化等による事業の見直し及び対策が必要になってくる。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-01					
事務事業名			総合スポーツセンター管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)			
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415			
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション				款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実				項	6	保健体育費
							目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)			羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセラム)						
目的(どうしたいか)			適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。						
手段(事業内容)			管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)						

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		128,794	130,000
人件費		1,846	1,852
総事業費		130,640	131,852
うち市負担分		130,640	131,852

28年度決算主な内訳
委託料:127,400,000円
修繕費:1,394,000円

## 活動指標

指標名	開館日数(日)		
指標の説明	1年間の施設の開館日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		359	359

参考数値
【利用者数】
平成26年度:375,960人
平成27年度:369,668人

## 成果指標

指標名	施設利用者数(人)		
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		413,889	420,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 総合スポーツセンターについては、施設の老朽化が見られるようになってきており、抜本的な改修が必要なほどではないが、漏水や電気系統の不具合、ボイラー等、機械系統の不具合が見られる。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-02				
事務事業名			体育施設管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6	保健体育費
						目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)			羽曳野市直営スポーツ施設(石川・羽曳が丘テニスコート・GG場・中央スポーツ公園・茶山テニスコート)					
目的(どうしたいか)			施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。					
手段(事業内容)			施設の維持管理					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		20,078	21,779
人件費		13,008	12,503
総事業費		33,086	34,282
うち市負担分		33,086	34,282

28年度決算主な内訳
【事業費】委託業務 (清掃業務) 1,424,104円 (し尿汲取り業務) 286,200円 (塵芥収集業務) 353,548円 (芝生管理業務) 5,616,000円 (機械警備業務) 63,504円 (管理運営業務) 8,871,509円 (駐車場保守・集金業務) 156,600円

## 活動指標

指標名	業務委託数(件)		
指標の説明	施設を適正に維持管理するために行った業務の委託数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			10

参考数値
(各施設延べ利用者数) 石川: 71,969人 羽曳が丘テニスコート: 5,548人 グラウンド・ゴルフ場: 38,075人(うち無料利用: 424人) 中央スポーツ公園: 79,105人 茶山テニスコート: 1,943人

## 成果指標

指標名	施設全体の合計利用者数(人)		
指標の説明	施設全体の合計利用者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			196,640

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 体育施設の管理に関し、本市のスポーツの振興として、現状の修繕費やグラウンド整備等に係る職員の人件費は概ね妥当である。今後、各施設において、それぞれ老朽化に対応した多額の修繕費が想定されることから、市の上位計画との整合性を図りながら、具体的事案の洗い出し、計画的な修繕計画を策定していく必要がある。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-03				
事務事業名			体育施設運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6	保健体育費
						目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)			羽曳野市直営スポーツ施設(石川・羽曳が丘テニスコート・GG場・中央スポーツ公園・茶山テニスコート)					
目的(どうしたいか)			施設の適正な運営を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。					
手段(事業内容)			市職員による利用者対応					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		3,340	1,148
人件費		13,008	12,503
総事業費		16,348	13,651
うち市負担分		-607	-3,304

28年度決算主な内訳
【事業費】 (消耗品費) 779,279円 (印刷製本費) 64,152円 (電話料) 80,370円 (複写機保守) 11,311円 (庁用器具費) 243,540円 (医薬材料費) 9,478円
【特定財源】施設使用料 4施設計 ¥16,954,552-

## 活動指標

指標名	開館・開場・開園日数(日)		
指標の説明	各施設の開館・開場及び開園の日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		359	359

参考数値
(各施設延べ利用者数) 石川: 71,969人 羽曳が丘テニスコート: 5,548人 グラウンド・ゴルフ場: 38,075人(うち無料利用: 424人) 中央スポーツ公園: 79,105人 茶山テニスコート: 1,943人

## 成果指標

指標名	施設全体の合計利用者数(人)		
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ5施設合計)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		196,640	200,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 市直営の体育施設には、石川スポーツ公園、羽曳が丘テニスコート、健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場、中央スポーツ公園、茶山テニスコート等があり、有料施設と無料施設とに分かれる。有料施設の管理形態としては、再任用職員等、市職員による管理、または管理及び受付業務等を事業者へ委託する業務委託に分かれている。今後の課題としては、事業者への業務委託により施設管理を行っている施設について、適正な施設管理という観点より指定管理者制度の導入を目標として、施設の管理及び運用のさらなる精査が必要である。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-04				
事務事業名			市民体育館等管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6	保健体育費
						目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)			スポーツ3施設(市民体育館、市民体育館テニスコート、市民プール)					
目的(どうしたいか)			適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
手段(事業内容)			管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		17,246	17,246
人件費		1,846	1,852
総事業費		19,092	19,098
うち市負担分		19,092	19,098

28年度決算主な内訳
委託料: 16,846,000円
修繕費: 399,826円

## 活動指標

指標名	開館日数(日)		
指標の説明	1年間の施設の開館日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		359	359

参考数値
【利用者数】 (平成27年度) 市民体育館: 52,959人 テニスコート: 22,657人 市民プール: 26,208人 (平成28年度) 市民体育館: 54,666人 テニスコート: 22,090人 市民プール: 27,274人

## 成果指標

指標名	施設利用者数(人)		
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		104,030	110,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 スポーツ3施設については、施設の老朽化が進んでおり、体育館に耐震能力がないほか、各施設に多く不具合が見られる。そのことにより、今後、施設のあり方を抜本的に見直すべき施設である。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-05				
事務事業名			グレープヒルスポーツ公園等管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6	保健体育費
						目	3	体育施設管理運営費
対象(誰を・何を)			スポーツ2施設(グレープヒルスポーツ公園、駒ヶ谷テニスコート)					
目的(どうしたいか)			適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
手段(事業内容)			管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		12,450	12,972
人件費		1,846	1,852
総事業費		14,296	14,824
うち市負担分		14,296	14,824

28年度決算主な内訳
委託料: 12,450,000円
修繕費: 769,500円

## 活動指標

指標名	開館日数(日)		
指標の説明	1年間の施設の開館日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		359	359

参考数値
【利用者数】 (平成27年度) グレープヒル: 20,276人 ※同年10月より改修工事の為、 使用不可期間あり。 テニスコート: 12,282人 (平成28年度) グレープヒル: 52,156人 テニスコート: 9,287人

## 成果指標

指標名	施設利用者数(人)		
指標の説明	1年間の施設の利用者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		61,443	65,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間企業の経営ノウハウを活用した施設の管理運営には、一定、効果が認められるものの、指定期間や募集形態については、今後、改善の余地がある。 スポーツ2施設については、施設の老朽化が進んでおり、特に駒ヶ谷テニスコートの老朽化が顕著である。ただし、駒ヶ谷テニスコートについては、本市で唯一ナイター照明がある施設であり、一定、市民ニーズのある施設である。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-01-06				
事務事業名			スポーツ施設利用予約システム運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4412		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	6	保健体育費
						目	1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)			羽曳野市民及び羽曳野市外利用者					
目的(どうしたいか)			羽曳野市民(在勤・在住・在学者)及び市外の方が、スポーツ施設予約システムを利用する事で体育施設の利便性向上を図る。					
手段(事業内容)			自宅等のパソコンや携帯電話からインターネットを利用して、スポーツ施設の空き情報の照会や利用申込等が、いつでも、どこでも、気軽に利用していただけるスポーツ施設予約システムである。					

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		3,889	3,374
人件費		897	902
総事業費		4,786	4,276
うち市負担分		4,657	4,147

28年度決算主な内訳
【事業費】
印刷製本費:129,708円
口座振替分割統合処理料:38,628円
システム運用委託料:1,321,920円
システム電算機借上料:2,009,568円
システム改修委託料:388,800円
【特定財源】
システム登録・更新・再交付手数料

## 活動指標

指標名	システム稼働日数(日)		
指標の説明	スポーツ施設利用予約システムの稼働日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		365	365

参考数値

## 成果指標

指標名	スポーツ予約システム登録件数(件)		
指標の説明	スポーツ施設利用予約システムの登録件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		1,134	1,500

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 平成28年6月より市内登録者と市外登録者の利用内容に区別をつけ、羽曳野市在住・在勤・在学者が優先して施設を利用出来る内容に変更した。また、システムの導入から一定の年数が経過しており、当初登録いただいた内容に変更が多い為、平成29年4月以降のシステム利用更新者(登録日から3年)に対し、本人確認・住所確認などを行い変更がある場合には変更届けを提出してもらい、不正利用となる登録の確認を行うなど、今後も利用者の利便性向上とシステムの安定稼働に努める。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	623-02-01			
事務事業名		学校体育施設開放事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款 10	教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		項 6	保健体育費
					目 1	保健体育総務費
対象(誰を・何を)		スポーツ・レクリエーション団体等				
目的(どうしたいか)		小中学校のグラウンド、体育館、プール等を各団体の活動の場として提供することにより、団体活動の充実を図るものである。				
手段(事業内容)		①年度ごとに事業への登録(団体単位)を受け付ける。 ②市内小中学校が規則の範囲内かつ、教育事業に支障がないと認めた日時の体育施設を開放し、登録団体に利用申請書を提出してもらったうえで施設の利用を認めている。				

## 事業費

単位：千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		49	49
人件費		5,062	5,080
総事業費		5,111	5,129
うち市負担分		5,111	5,129

28年度決算主な内訳
【事業費】印刷製本費：48,600円

## 活動指標

指標名	小中学校開放数		
指標の説明	小中学校の開放数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			19

参考数値

## 成果指標

指標名	利用実績延べ人数(人)		
指標の説明	実際に施設を利用した延べ人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			195,869

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 平成28年度においては212団体の登録があり、公共の体育施設だけでは供給しきれないスポーツ・レクリエーションの場の提供として本事業は必要不可欠である。また、『1団体1校のみの登録』の規制も行ってきたが、限りある学校体育施設に対して年々増加している利用希望の需要に対応しきれない状況である。 今後は、継続運営していく中で利用希望者がより平等に施設を利用できるよう改善していく必要がある。 プール開放については、他市小学校のプール事故を受け、監視員数の強化等を利用団体に義務付けするなどの安全強化に努めており、今後も事故防止の為のより良い運営方法等の見直しを随時図っていく。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	623-03-01			
事務事業名			茶山駐車場整備事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名			教育委員会生涯学習室 スポーツ振興課		連絡先	内線4415	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			会計	1 一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			款	10 教育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			項	3 中学校費
	対象(誰を・何を)	茶山テニスコート敷地					目
目的(どうしたいか)		茶山テニスコートの敷地内に有料駐車場を整備することで利用者の利便性の向上を図る。					
手段(事業内容)		整備工事					

## 事業費

単位: 千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		4,000	0
人件費		1,846	0
総事業費		5,846	0
うち市負担分		5,846	0

28年度決算主な内訳
【事業費】パーキングシステム整備委託費4,000,000円

## 活動指標

指標名	整備駐車場台数(台)		
指標の説明	茶山駐車場を整備し、駐車可能となった台数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		11	-

参考数値

## 成果指標

指標名	整備率(%)		
指標の説明	茶山駐車場整備における整備率		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100	-

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 平成28年度において事業完了